



## 美術館だより



高梁市歴史美術館

## 「生誕140年 清水比庵展」芸術に遊ぶ」推しの一点

期間 5月22日(月)まで

現在、高梁市歴史美術館で開催中の「生誕140年 清水比庵展」では、作品・関連資料約80点を展示しています。その中から「これはぜひ見てほしい！」と思う1点をご紹介します。

日本画家 川合玉堂が、玉堂（左）と清水比庵（右）の語らう様子を描いた作品です。左上には、比庵の短歌「多摩川の白瀬のみゆる山のおの若葉の間より黒き蝶とぶ」が、比庵自身の手で書かれています。

比庵は、昭和5（1930）年に日光町長（現栃木県日光市）に就任しました。昭和14（1939）年に日光町長を辞職し、残りの人生を自分の好きなことに充てようと意気込んでいましたが、昭和17（1942）年に妻の鶴代が急逝します。見る影もなく憔悴する比庵を元気づけるために、末弟 浩（号・三溪）が用意したのが「野水会」でした。これは比庵と三溪の作品、そして川合玉堂の賛助作品などを展示する会で、昭和17年12月に第1回展が開催され、昭和32（1957）年までは毎年開催されました。野水会がきっかけで比庵と玉堂は親しく交流します。お互いを敬愛し先生と呼び合い、玉堂の短歌を添削する往復書簡を頻繁に交わし、月に一度玉堂の画室を訪れては合作を制作するような関係が、玉堂が亡くなるまで続きました。

この作品は、川合玉堂による唯一の自画像とされています。玉堂との出会いにより比庵の作品はさらに豊かさを増し、評価されるようになりました。



▲《先生と私》 川合玉堂画、清水比庵賛 玉堂美術館蔵

## 各施設の展示一覧

※開館日や開館時間が変わる可能性があります。

施設	内容	開館時間	入館料
高梁市歴史美術館 ☎ 21-0180 火曜日休館	生誕140年 清水比庵展～芸術に遊ぶ～（～5月22日(月)）	午前9時～午後5時 （入館は午後4時30分まで）	一般…500円 65歳以上・高校・大学生…300円 中学生以下…無料
高梁市成羽美術館 ☎ 42-4455 月曜日休館	鴨居玲一 1983年2月3日、私（～6月25日(日)）	午前9時30分～午後5時 （入館は午後4時30分まで）	一般・シニア…1200円 学生…600円
吉備川上ふれあい漫画美術館 ☎ 48-3664 金曜日休館 ※5月2日(火)は休館、 5日(金)は開館	常設展示「富永一朗原画 春の景」／コーナー展示「このマンガがすごい！2023 男女ベスト5」	午前9時～午後5時 （入館は午後4時30分まで）	一般…500円 高校・大学生…400円 小・中学生…300円

常設のみの施設：山田方谷記念館☎ 22-1479／景年記念館☎ 21-1516(社会教育課)

入館無料の対象：市内在住の小・中学生(学校休業日に利用する場合)／障害者手帳を持つ人と介助者1人／市内在住の65歳以上(歴史美術館と成羽美術館は対象外)